



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

- 17日** この日発表された米指標が予想より弱い結果となったほか、米中対立を巡る警戒感が改めて意識され、ドル円は一時105.94円まで値を下げた。
- 18日** ドル円はアジア時間から売りが先行。米長期金利の低下も相場の重しとなり、105.28円まで下押しした。
- 19日** ドル円はアジア時間に一時105.10円まで下落する場面があったものの、海外時間に入ると買い戻しが優勢に。FOMC議事要旨で「YCCなどのハト派的な政策の導入に現時点で否定的な見解」が示されると、米長期金利の上昇とともに106.15円まで切り返した。
- 20日** 米雇用指標がさえない結果となったことあり、為替市場ではドル売りが再開。ドル円もドル売りの流れに沿って105.75円まで押し戻された。
- 21日** ドル円は海外時間に入ると対欧州通貨などでドル高が進んだ影響から強含み。株高や米長期金利の上昇も支えとなり、一時は106.07円まで値を上げた。
- 総括** 先週のドル円は下げ渋る動きとなった。弱い米指標や米中対立の激化懸念などを手掛かりにした売りが先行。19日には一時105.10円まで下落する場面も見られた。一巡後はFOMC議事要旨でハト派な政策の導入に否定的な見解が示されたことで、106.20円台まで反発。週末にかけては105円台後半を中心とするレンジ内でのみ合いとなった。

## 先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	予想値	結果
18日	10:30	火	AUD	RBA議事要旨	*	*	*	*	*
18日	21:30	火	USD	住宅着工件数	年率換算	7月	118.6万件	123.7万件	149.6万件
19日	18:00	水	EUR	HICP改定値	前年比	7月	0.4%	0.4%	0.4%
19日	27:00	水	USD	FOMC議事要旨	*	*	*	*	*
20日	20:30	木	EUR	ECB理事会議事要旨	*	*	*	*	*
20日	21:30	木	USD	フリー指数	*	8月	24.1	21.0	17.2
21日	23:00	金	USD	中古住宅販売件数	年率換算	7月	472万件	538万件	586万件

一言コメント・・・米経済指標は良好な内容が多く、米国株やドルの上昇を支援しました。一方、ユーロ圏経済指標は低調となりユーロの重しとなりました。ただ、米金融緩和策の長期化観測を背景に米長期金利は低下傾向にあり、ドルが一歩調子で上昇する展開にはなりませんでした。

## 先週の注目された要人発言

17日07:10 アーダーンNZ首相「総選挙を10月17日まで4週間延期」  
 17日20:42 ロス米商務長官「中国は農産物を大量に購入している」「様々なレベルでの中米協議が続く」  
 17日21:43 ナバロ米大統領補佐官(通商担当)「中国との第一段階の貿易協定は軌道に乗っている」「中国は購入について自らの言葉を守っている」  
 19日06:22 トランプ米大統領「中国との通商協議は延期した」「今は中国と話したくない」  
 19日12:25 メドゥズ米大統領首席補佐官「新たな米中通商協議は予定されていない」「ライトハイザー米通商代表部(USTR)代表は、第1段階通商合意に基づくコミットメントにより中国側と協議を続ける」  
 19日13:36 安倍首相「体調管理に万全を期すため検査を受けた」「仕事に復帰して頑張っていきたい」  
 20日03:00 米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨「何人かの当局者はイールドカーブ・コントロール(YCC)がバランスシートを大幅に拡大する可能性を懸念」  
 20日16:25 中国商務省「数日以内に米国との貿易交渉を行う」「米中双方はすぐに会談することで合意」  
 20日20:36 欧州中央銀行(ECB)理事会議事要旨(7月16日分)「高度に緩和的な金融政策スタンスが引き続き適切であることに合意」「現在の金融政策のスタンスは十分であり、現時点では再調整の必要はない」  
 21日18:30 バルニエ英EU離脱・欧州委員会首席交渉官「ブレグジット交渉が終わるまでほとんど時間がない」「今週の話し合いは早く動かなかった」  
 21日18:35 フロスト英・欧州連合(EU)担当交渉官「今週のEUとの通商交渉に進展はほとんどなかった」

一言コメント・・・FOMC議事要旨を受けて、FRBが追加の金融緩和策に積極的ではないとの見方が広がり、ドル買いが強まる場面がありました。また、週末にはEUを離脱した英国とEUの将来関係などを巡る交渉で「進展がほとんど見られなかった」ことが分かり、ポンド売りが優勢となりました。

## 今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
25日	15:00	火	DEM	GDP改定値	前期比	4-6月期	-10.1%		-10.1%
25日	23:00	火	USD	新築住宅販売件数	年率換算	7月	77.6万件		78.3万件
25日	23:00	火	USD	消費者信頼感指数	*	8月	92.6		93.0
26日	21:30	水	USD	耐久財受注	前月比	7月	7.3%	7.6%	4.4%
27日	21:30	木	USD	GDP改定値	前期比年率	4-6月期	-32.9%		-32.5%
27日	22:10	木	USD	パウエルFRB議長発言	*	*	*	*	*
28日	21:30	金	USD	PCEコアデフレーター	前年比	7月	0.9%		1.3%

今週の注目は・・・FRB議長講演

# 週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで  
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
  - 荻野金男
  - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
  - 今井雅人
  - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。